

H31年度決算と基金残高の推移

【1】H31年度決算状況について

- H31 決算状況につき、繰越金（計 41,066 千円）等の財源により、税込補てんが行われ、30,000 千円ほどのプラス。さらに、基金へ 15,000 千円を積立て
- H31 年度では「前期精算」はないが、当剰余金 33,582 千円を **R2 精算 26,971 千円の財源**とする（残りは 6,000 千円ほど）

（単位：千円）

剰余金	=	歳入 2,859,802				-	歳出 2,826,220		
		保険税込	国等から	繰入金	繰越金		納付金	医療・保健事業	積立金
		33,582	562,585	2,256,151	0		41,066	750,036	2,061,017

（▲26,971）

【2】R2 決算不足（見込み）について

以下、①と②から、「**25,000 千円**」ほどの決算不足が生ずるものと推定（基金繰入：当初 63,474）

① R2 決算見込み

- R2 年度の 7 月当初賦課時点での「決算見込み」から、決算不足分として 24,908 が必要。また、繰越金 33,582 は前期精算 26,971 の財源へ（剰余金 6,000？）

剰余金	=	歳入 2,938,872				-	歳出 2,938,872		
		保険税込	国等から	繰入金	繰越金		納付金	医療・保健事業	積立金
		0	540,328	2,340,054	24,908		33,582	797,388	2,141,478

② R2 納付金

- 道が算定した「納付金」からみると、増加額から前期精算分をのぞくと、20,382 が純増分となる（H30、31 の納付金が低く算出されている予想…）
- 納付金は、今までの税込で「ほぼ過不足無」と考えられ、今後 20,382 が増分として想定

R2 年度	-	H31 年度	=	増加額	前期精算	純増分
797,388		750,036		47,352	26,970	20,382

【3】基金残高の推移と今後の課題

<基金残高について>

- ① 広域化の前後 6 年間をみると、「**約 1 億円**」の抑制財源を確保してきた
- ② 今後、「前期精算分 27,000」と「**税不足分 25,000**」から、**年間約 5 千万円**の財源が必要
- ③ R3 予算は、**基金残高「約 6 千万円**」が見込まれ、編成可能か…（R2 補正で繰入金を減）
- ④ R4 予算は、**基金残高がわずか**となり、編成不可能…（R2 の決算剰余金によるが…厳しい）

<今後の展開>

- ⑤ そこで…、R4 予算で「税込増」の**税率改正**を実施。▲25,000 ⇒ +20,000 と転じたいが…
- ⑥ **45,000 増収**とする税率改正でも、**R5 予算が組めるかどうか**…、まだ増額が必要？数年間で？
- ⑦ **コロナ禍や王子 HD 移転**が、R3 以降の国保運営にどれほど影響するか…

<今後の課題（保険料率の統一化）>

- ⑦ 「統一保険料率」に向け、まずは **R8 まで「3 方式化**」、次に **R11 まで「賦課割合の平準化**」
- ⑧ できれば、前期精算が終了した **R6～8**にかけて「**3 方式化**」を目指したい…

【国保税の抑制財源（基金＋剰余金）と今後の見込について】

年度	基金			国保会計	税抑制財源 A+B
	基金(当初)	上:決算補填 下:前期精算	基金(決算) A	実質剰余金B (剰余金-翌年精算)	
H27	89,050	▲33,210 0	55,840	52,855 (72,617 - 19,762)	108,695
H28	55,840	+44,158 0	100,004	44,320 (53,202 - 8,882)	144,324
H29	100,004	▲7,613 0	92,398	7,927 (50,054 - 42,127)	100,325
H30	92,398	▲20,010 0	72,388	41,066 ※翌年度精算なし	113,454
H31	72,388	+15,167 0	87,555	6,611 (33,582 - 26,971) ※前期精算分	94,166 (121,137)
R2	87,555	▲25,000 0	62,555	10,000? ※前期精算分財源へ	62,555
R3	62,555	▲25,000 ▲26,970	10,585	—	10,585
R4	10,585	▲25,000 ▲26,970	▲41,385	—	0
R5	0	▲25,000 ▲26,970	▲51,970	—	0
R6	0	▲25,000 0	▲25,000	—	0

広域化



R4年で、税率改正（増収）した場合…
45,000 増（▲25,000 ⇒ +20,000）

R3	62,555	▲25,000 ▲26,970	10,585	—	10,585
R4	10,585	+20,000 ▲26,970	3,615	—	0
R5	3,615	+20,000 ▲26,970	▲3,355	—	0
R6	0	+20,000 0	20,000	—	0

改正後、R5で赤字決算が見込まれ、R6から徐々に
上向きか？（+20,000 がどこまで続くか…）

【4】税率改正時の議会・運協スケジュール

<「当初」予算で変更>

- ・ 9月に運協、常任委を経て、3定に税率改正案を提案。
- ・ 4定で税率改正の承認後、翌1定で予算案を議決

9月
上中旬： 運営協議会へ諮問・答申
中旬： 常任委員会へ報告
下旬： 3定 ：税率改正案を提案（付託？）
12月
4定 ：税率改正案を承認
(R3) 3月
1定 ：予算案議決

<「補正」予算で変更（土別市の例）>

- ・ 当初予算案は、通例どおりの日程で議決
- ・ 4月に、最新情報と決算見込みから、税率改正案を作成
- ・ 5月GW明けに運協、議員協議会？を経て、2定で補正予算案を議決

(R3) 3月
1定 ：当初予算案議決
4月
【税率試算】①R3 税収見込み（所得・資産の最新情報から） ②基金状況（R2 決算見込から）
5月
中下旬： 運営協議会へ諮問・答申
： 議員協議会 へ補正予算案（税率改正）を説明
6月
2定 ：補正予算案（税率改正）を議決